

様式第 2 号

喫 煙 裸 火 使 用 承認申請書 危 険 物 品 持 込			
			年 月 日
神戸市消防長 宛 神戸市 中央消防署長 宛			
1 申請者 住 所 (電話) 氏 名			
神戸市火災予防条例第 24 条第 1 項の規定による承認を受けたいので、次のとおり申請します。			
2 防 火 対 象 物	所 在 地	中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号 (電話 078-351-3535)	
	名 称	神戸文化ホール	
	防火管理者	神戸文化ホール 管理部長 矢島 邦信	
3 使 用 場 所	階		階の用途
	構 造	RC 造り 耐火建築物 (舞台床は檜集成材)	
	場所の名称 又は用途		整理番号
4 承認を受けよう とする行為	種 類	<input type="checkbox"/> 喫 煙 <input type="checkbox"/> 裸火使用 <input type="checkbox"/> 危険物品持込	
	期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで	
	理 由		
	内 容		
5 現 場 責 任 者	職 ・ 氏 名		
6 防火上の措置等	区 画		
	措 置		
7 そ の 他			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

備考

- 1 ※印の欄は、記入しないこと。
- 2 この申請書は、正副各 1 通提出すること。
- 3 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
- 4 使用場所の詳細図及び当該場所付近の概要図を添付すること。
- 5 1 の欄については、申請者が法人である場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 6 3 の欄の「場所の名称又は用途」は、複合用途対象物、地下街又は管理権原者の異なる対象物の場合に記入すること。「整理番号」は、2 以上申請の場合は、それぞれ記入すること。
- 7 4 の欄の「内容」は、裸火使用の場合は使用する器具装置を、危険物品持込の場合は危険物品名を記入すること。
- 8 6 の欄については、内部の仕上げ又は火気から可燃物までの距離等措置したことについて記入すること。

禁止行為解除申請書 記入例

様式第2号

		喫煙 裸火使用承認申請書 危険物品持込		記入例	
				令和6年 5月 1日	
神戸市消防長 宛 神戸市 中央消防署長 宛		1 申請者 住所 神戸市中央区楠町4丁目2-2 神戸文化ホール内 (電話 078-351-3535) 氏名 神戸 紫陽花			
神戸市火災予防条例第24条第1項の規定による承認を受けたいので、次のとおり申請します。					
2 防火対象物	所在地	中央区楠町4丁目2番2号 (電話 078-351-3535)			
	名称	神戸文化ホール			
	防火管理者	神戸文化ホール 管理部長 矢島 邦信			
3 使用場所	階	2階	階の用途	大ホール	
	構造	RC造り 耐火建築物(舞台床は檜集成材)			
	場所の名称 又は用途	大ホール 舞台	整理番号		
4 承認を受けようとする行為	種類	<input type="checkbox"/> 喫煙 <input type="checkbox"/> 裸火使用 <input checked="" type="checkbox"/> 危険物品持込			
	期間	令和6年 5月 20日 から 令和6年 5月 21日 まで			
	理由 内容	演出効果を高めるため スモークマシン DF-50 1台使用			
5 現場責任者	職・氏名	舞台監督 平台 綱元			
6 防火上の措置等	区画	別紙図面の通り			
	措置	持込消火器の設置 監視員の配置 など			
7 その他					
※ 受付欄		※ 経過欄			

備考

- ※印の欄は、記入しないこと。
- この申請書は、正副各1通提出すること。
- 印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
- 使用場所の詳細図及び当該場所付近の概要図を添付すること。
- 1の欄については、申請者が法人である場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3の欄の「場所の名称又は用途」は、複合用途対象物、地下街又は管理権原者の異なる対象物の場合に記入すること。「整理番号」は、2以上申請の場合は、それぞれ記入すること。
- 4の欄の「内容」は、裸火使用の場合は使用する器具装置を、危険物品持込の場合は危険物品名を記入すること。
- 6の欄については、内部の仕上げ又は火気から可燃物までの距離等措置したことについて記入すること。

① ……主催者様の住所・氏名・電話番号をご記入ください。

② ……中ホールは1階 大ホールは2階です。

③ ……種類にチェックをいれてください。スモークマシン（油性）を使用の場合は危険物持込です。

④ ……区画は別紙図面の通りとし、舞台平面図にて指定してください。講じる措置はすべてご記入ください。



禁止行為解除承認申請書の手続きについて

神戸市の火災予防条例第24条に基づき、禁止行為を行う場合は解除の承認を受ける必要があります。

禁止行為は大きく分けて「喫煙」「裸火の使用」「危険物品の持込み」の3つです。

演出効果上その行為をおこないたい場合は、神戸市中央消防署に願い出て許可を得る必要があります。

※危険物品の持込み例・・・スモークオイル（油性）・ろうそく・火薬類・クラッカー（火薬） など

～申請手続きの流れ～

準備物

Check.1

1. 禁止行為の解除承認申請書（神戸文化ホール HPにてダウンロード）
2. 舞台平面図（禁止行為を行う場所、消化設備、人員の配置を書き込んだもの。平面図はHPよりダウンロード可）
3. 禁止行為を行う時間帯がわかるもの（進行表、タイムスケジュール）
4. 禁止行為の内容がわかるもの（機器の説明書・仕様書、原料の成分や引火点その試験結果が証明できるもの）
5. 公演内容がわかるもの（チラシ）

※各2部ずつご用意ください

Check.2



神戸文化ホールへ提出

準備物を各2部ずつご用意いただき、当ホールへご提出ください。担当者が内容を確認しご返却いたします。
メールでの送付も可能です。



神戸市中央消防署へ提出

神戸文化ホールの承認（確認印があるもの）を受けた準備物を2部ずつ、神戸市中央消防署へご提出ください。
尚、提出は必ず**主催者様**が行ってください。また、消防署からの承認は当日に受けられるとは限りません。
早めのご申請をお願いいたします（神戸市中央消防署 TEL:078-241-0119）



公演当日、神戸文化ホール舞台担当者へ提出

Check.3

神戸市中央消防署から承認後、**1部返却された申請書**を公演当日（禁止行為を行う日）に**舞台スタッフ**へとお渡しください。
（舞台スタッフは各ホールとも、下手袖中・操作盤にあります）
承認を受けた内容（行為の場所、監視員、消火器・水バケツの配置など）が適切に行われているかどうかを
当日ホールスタッフが適宜確認いたします。

ご不明な点がございましたら  **神戸文化ホール** 舞台課 までお問合せください

TEL：078-351-3535